

EXGEL NEXT CUP with DUNLOP 2020SERIES Rd.2 SUZUKA

■開催日：9月27日 ■会場：鈴鹿サーキット国際南コース ■天候：晴れ / DRY ■参加：18台

 **DUNLOP**

EXGEL[®]

ThreeBond



鈴木斗輝哉、 開幕の雪辱を果たす優勝！

EXGEL ネクストカップ with DUNLOP 第2戦は、9月26～27日に鈴鹿サーキット国際南コースで開催された。前回のもてぎ大会からややエントリーを増やし18台が参加。特に、ダンロップタイヤの開発ドライバーを務める井本大雅ら国内トップドライバーが参戦しレースを盛り上げた。

レースウィークは、やや残暑が残るものの、概ね秋らしい爽やかな気候のもと開催された。

タイムトライアルでは、鈴鹿で行われているレーシングスクール SRS-Kにも参加し、コースを知り尽くしている加藤大翔がトップタイムをマーク。2番手にベテランの前田樹と今回から参戦する二人がトップ2を占める。3位に開幕戦を完全優勝で飾った洞地遼大、同2位だった鈴木斗輝哉と続く。

予選ヒートでは加藤、洞地、鈴木、皆木駿輔、前田らが激しいバトルを展開。最終ラップの攻防でフロントカウルを規定位置より内側へと入れてしまった加藤が、5秒加算のペナルティを受け13位に後退。決勝PPは洞地が獲得した。

決勝では、洞地がホールショットを奪い鈴木、皆木、前田、居附明利らを従えながら周回を重ねていく。さらに、後方からは加藤が猛烈な追い上げを見せ、7周目には6番手まで浮上する。



7周目、それまで洞地の後方で様子をうかがっていた鈴木が、洞地のペースが上がらないと見てトップに浮上する。洞地、前田のすぐ後ろには加藤がつけ、トップ3をうかがう走りを見せる。

 **Carmate**

 **TONE**

 **Arai**
HELMETS

 **NGK**
SPARK PLUGS

 **MOTUL**

 **EDIFICE**

 **IAME**
THE HEART OF KART

 **KRP**
Racing Project



終盤、洞地を前田がパス。しかし、2位を死守したい洞地は15周目に抜き返しポジションを守る。その前田には居附が襲いかかり、15周目の最終コーナーで3番手に浮上。さらに、加藤も前田をかす。

これらの攻防もあり、その間にリードを広げていった鈴木は、約1.5秒の安全マージンを持ってレースを進め、最後まで脅かされることなくチェッカーを受け、開幕戦の雪辱を果たす優勝



を飾った。2位には洞地、3位に居附が入り表彰台を獲得した。

また際立った活躍をした選手に贈られるMC-FORTUNE賞は4位まで追いつけた加藤が受賞した。

この結果、ランキングトップは洞地が堅持。2位には僅差で鈴木が続き、この二人に加え居附、皆木、前田、植田晴斗、五十嵐文太郎の7人にタイトル獲得の可能性が残されることとなった。

最終戦は10月11日に岐阜県・フェスティカサーキット瑞浪で開催される。



EXGEL NEXT CUP with DUNLOP 2020 第2戦

Pos. No.	Driver	Team	Frame	Engine	Tyre	Q.P.	Q.H.
1	⑰ 鈴木斗輝哉	K.SPEED WIN	DragoCorse	IAME	DL	51.660	④ ②
2	⑦ 洞地遼大	K.SPEED WIN	DragoCorse	IAME	DL	51.605	③ ①
3	⑫ 居附明利	Ash	TONYKART	IAME	DL	52.030	⑩ ⑥
4	⑳ 加藤大翔	HRS JAPAN	KOSMIC	IAME	DL	51.469	① ⑬
5	⑩ 前田 樹	Tam REGOLITH	KR	IAME	DL	51.582	② ④
6	⑧ 皆木駿輔	K.SPEED WIN	CROC PROMOTION	IAME	DL	51.842	⑧ ③
7	⑪ 上野晴紀	エッフェガーラ	BirelART	IAME	DL	51.878	⑨ ⑦
8	⑮ 近江川暖人	K.SPEED WIN	DragoCorse	IAME	DL	51.710	⑤ ⑩
9	⑬ 五十嵐文太郎	エッフェガーラ	BirelART	IAME	DL	51.811	⑦ ⑨
10	① 黒川史哉	Ash	TONYKART	IAME	DL	52.135	⑬ ⑭



1st : 鈴木斗輝哉

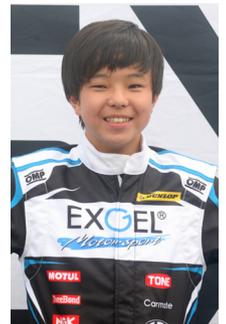
K.SPEED WIN

練習はそチームメイトの二人が速かったのであまり勝てる自信はなかったんですけど、いざレースになってみたらTT 4番手ですごく良かったので、予選にも手応えはありました。予選では1位2位がすごいバトルをしていたので、様子を見てタイヤマネージメントできたのが良かったと思います。決勝は、洞地選手のペースが上がらなかったので、自分のペースでタイムを同じように刻んで走れたのが大きかったと思います。今年チャンピオンとして、ヨーロッパでサポートしていただけるようにがんばります。

2nd : 洞地遼大

K.SPEED WIN

前回1位1位でポイントが良くて、今回も練習から調子良かったのですが、予選からちょっとペースが悪いなどとなって、決勝もペースが悪く前に追いつけなかったのが悔しいです。途中からキャブが調子悪くなって、アクセルを離しても進んでしまう状態で、ちょっとずつ離れてしまいました。後ろが迫ってきたので、2位を守ろうと切り替えました。瑞浪は経験がたくさんあるので、勝てるようにがんばります。



3rd : 居附明利

Ash

セットを後半寄りしていたので、前半苦しかったのですが、なんとか耐えて前についていけるように頑張りました。5番手くらいに上がったときから、前とカート1台分くらい離れて、追いつくのに必死でなかなか追いつけなかったのですが、前がバトルするのを待って、最後に前に出られたらいいと思っていました。瑞浪はホームなので、今回よりもさらに気合い入れてがんばります。

